災害に備えた情報収集

担当　危機管理課　☎046(252)7395　FAX 046(252)7773

災害発生時は、被害の状況などを早急に情報収集し、安全の確保につなげることが大切です。情報を得る手段を確認し、ラジオなどと合わせて活用しましょう。

◆緊急情報いさまメール

市内で発生した災害や不審者目撃などの緊急情報、防災行政無線で放送した内容を携帯電話やパソコンに電子メールで配信するサービスを行っています（同メールの内容は市ホームページでも公開しています）。

降雨時や風が強い日は防災行政無線の放送が聞き取りづらくなります。緊急情報や避難情報などをしっかりと入手できるよう、登録しましょう。

○**登録費用**　無料（通信料などは利用者負担）

○**登録方法**　スマートフォン、携帯電話などでURL（http://www.anshin-bousai.net/zama/）を入力または次の2次元コードから登録

いさまメール登録用2次元コード

※迷惑メール防止の設定などをしていると受信できない場合があります。

◆市LINE公式アカウント

市LINE公式アカウントでは市からの情報配信を受け取ることができる他、FAQ（よくある質問の自動応答）・通報などのサービスを利用できます。

災害情報に関しては、台風接近の注意喚起や避難所開設などの情報を発信します。

○**登録方法**　LINEアプリを起動し、「友だち検索」から市公式アカウントID「@zama_city」を検索するか、次の2次元コードを読み取って登録してください。

市LINE公式アカウント2次元コード

◆防災行政無線音声自動応答サービス

防災行政無線で放送した内容（地震、台風、洪水などの災害に関することや市民の皆さんの生命、身体、財産に重大な影響があると判断される情報）がよく聞こえなかった場合や、放送内容をもう一度確認したいときなどに放送と同じ内容が音声により確認できます。

○**音声自動応答サービス**　0120（673）679

◆Yahoo!防災速報

緊急地震速報や避難情報などの防災に役立つ情報や、突然の大雨や局地的豪雨のお知らせなど、生活に役立つ情報配信サービスです。登録方法など詳しくはYahoo!防災速報ホームページ（https://emg.yahoo.co.jp/）をご覧ください。

◆POTEKA（ポイント天気観測）システム

パソコンやスマートフォンなどを利用して、リアルタイムに気象情報を知ることができます。台風、局地的豪雨などの風水害対策の他、天候確認、熱中症対策などに役立てることができます。

○**利用方法**　▽パソコン＝「POTEKANET」（http://www.potekanet.com）から希望の地域を選択▽スマートフォン＝App StoreまたはGoogle Playからアプリケーション「MyPOTEKA」をダウンロード

◆テレビのデータ放送

NHK総合テレビの画面では、リモコンのdボタンを押すと、番組を見ながら避難情報や気象情報を確認できます。

◆気象庁ホームページ

気象庁ホームページ（https://www.jma.go.jp/jma/）では、洪水警報の危険度分布、土砂災害警戒判定メッシュ情報、気象警報・注意報発表などを確認できます。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた自然災害時の避難

担当　危機管理課　☎046(252)7395　FAX 046(252)7773

市では、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所の整備を進めていますが、市が開設する避難所・指定緊急避難場所は、避難者が過密状態になることが想定されます。

避難とは、避難場所へ行くということだけではなく、安全な場所へ移動して身の安全を守ることです。自分や家族の命は自ら守る意識を持ち、日頃から備えておくことが重要です。

分散避難（市が開設する避難所・避難場所以外への避難）の検討を

自宅が洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域内の場合、市が開設する避難先以外にも、安全な場所にある「親戚や知人宅への避難」「建物の2階以上で崖から離れた部屋への移動」「車中避難」などの検討を事前に行いましょう。避難所や避難場所に行かないことで新型コロナウイルス感染症拡大の危険性を減らすことにつながります。また、自宅が全壊・全焼した方など、本当に避難が必要な方を適切に受け入れることができるようご協力をお願いします。

台風や豪雨時の車中避難場所

台風や豪雨時は、これまではコミュニティセンターなどの避難場所を開設していましたが、今後は芹沢公園の駐車場も車中避難場所として開放します。車中避難する場合は、周囲の状況を十分確認し、エコノミークラス症候群に注意しましょう。

避難所・避難場所の開設状況などは市ホームページ、市防災メール「いさまメール」、市LINE公式アカウントをご覧になるか担当へお問い合わせください。

避難所・避難場所に避難するときの注意点

非常用持出品にマスク、体温計、消毒液（除菌シート含む）、靴袋、室内履き、ごみ袋などを追加する。

◆避難所

避難所とは、自宅が被災し居住できなくなってしまった方が一定期間生活する施設です。

◆指定緊急避難場所

指定緊急避難場所とは、迫りくる災害から命を守るために一時的に避難する場所です。

放火にご注意ください

担当　予防課　☎046(256)2187　FAX 046(256)3225

令和2年度の全国の出火件数3万4602件の内、放火および放火の疑いによる出火件数は4020件で全体の約11・6パーセントを占めています。放火は深夜に死角となる場所などで発生することが多く、発見が遅れ被害が拡大する恐れがあります。

放火から皆さんの命や家、家財などを守るために、次のことに注意して、放火をされない・させない環境をつくりましょう。

◆放火を防ぐポイント

- 家の周りは常に整理整頓し、雑誌・新聞などの燃えやすいものは置かない
- ごみは決められた収集日の朝に出す
- 建物周辺の暗い場所には外灯を取り付けるなどし、家の周りを明るくする
- 外出するときや就寝時には必ず戸締まりを確認する
- 自転車や自動車などのカバーには防炎製品を使用する

通電火災を防ぐために

担当　予防課　☎046(256)2187　FAX 046(256)3225

近年、毎年のように大雨による洪水や土砂災害などの水害が発生しています。こうした水害などにより長時間の停電が発生した場合、水没した電気機器などが再通電した際に火災が発生する恐れがあります。

水害により停電が発生した場合は、次の対応を図るようにしてください。

◆大雨に伴う通電火災対策

- 停電中は電気機器のスイッチを切り、コンセントを電源プラグから抜く
- 停電時に自宅などを離れるときはブレーカーを落とす
- 再通電時には漏水などにより電気機器が破損していないか、配線やコードが破損していないか、燃えやすいものが近くにないかなど十分に安全を確認する
- 建物や電気機器に外見上の破損がなくても、壁面配線の破損や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過した後に火災が発生する場合があるため、煙の発生などの異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防機関へ連絡する